

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

春の交通安全運動に

参加しましょう

四月六日(日)から四月十五日(火)までの十日間、春の交通安全運動が全国的に展開されます。

今年の重点として

●高齢者と子供の交通事故防止

●シートベルトの着用の徹底

●若者の無謀運転の防止

●三点が掲げられております。

次の事に心がけて家族・地域ぐるみで交通事故の防止に努めましょう。

●交通事故防止は家庭から

交通事故防止は、みんなの願い。一日一回家族ぐるみで、事故に遭わないよう事故の当事者にならないよう、話し合う習慣を付けましょう。また、今月は新入学期や、新入園期でもあり、お子さん達に正しい交通ルールを身に付けさせる事が大切です。

●夜間の外出の際の心得

車から「見えている」と思ふ夜の道、大人も子供も夜間の外出には、車からよく見えるように目立つ服装や、反射材等を使用して自分の位置を知らせるようにしましょう。

高齢になると感覚や、体に衰えが目立ち判断力も衰えます。夜間の外出は出来るだけひかえましょう。

●運転者はマナーを守りましょう

運転の際は、歩行者を優先にした思いやりの気持ちで、運転をしましょう。シートベルトは必ず着用しましょう。

助手席も同じです。また、小さいお子さんにはチャイルドシートを用意しましょう。

最近若い方々の無謀な運転が多く目立ちます。事故を起こして慌てるよりも、安全運転で事故を起こさない事故に遭わないをモットーに、一人一人お互いにマナーを守り、明るい住みよい地域社会にしましょう。

塩釜地区交通安全協会

多賀城市連合支部長 松浦恵二



仙台港立地企業防犯対策協議会の発足にあたって

二月号の「ふれあい」に二件も出て

おりました。東北石油の事故の多発・その対応の悪さに私も腹がたっておりまして。まして昨年十二月十八日夜半の爆発音、そして今年一月六日の火災には生きた心地がしませんでした。平均年齢七十七才の我が家ではパニックに陥り何が起きるのか不安で朝迄眠る事も出来なかった。それなのに何の広報もなく夜七時頃を待って市役所に電話したところ現場で調査中との事、その後やっと駆け抜ける早さで事故の

広報があった。私達住民が一番知りた

いことは、今後危険があるのか？ないのか？である。地区には、一人暮らしの老人、寝たきりの人、それから障害者等いるはずで、そんな事を考える時、行政まかせ、会社まかせには出来ない。何かしなくてはと思つては見たが、私一人の力ではどうにもならず悩んでいた矢先に、「仙台港立地企業大代地区防犯対策協議会」の発足を知り安心した次第です。今迄の事故多発は行政の防災体制の甘さもさる事ながら地区民の無関心の結果が大であると反省し、この会の発足に御尽力された方々に深く感謝しているところであります。好むと好まざるところにかかわらずに東北石油だけではなく危険一杯のガス会社その他の企業も住宅地に迫って来ている現在、関心を持ち、声を出して対処しないと、次代の子や孫に迄不安を及ぼし大切なふるさとが住み良い地ではなくなってしまうと思ひます。せつかく発足した会も地元の方々の関心と協力がなければ長続きが出来ません。企業や行政をたゞ攻撃するだけでなく、いかに共存しながら住み良い街を次代に継承させ得るかが、今の私達の課題ではないでしょうか。幸い二月二日には関係諸官庁、会社関係の御出席を願う第一回目の説明会が行われた事は、喜ばしい事だと思ひます。執行部の皆さんの御健闘を期待しますとともに今後とも宜しく御願ひ致します。

大代南 星 繁子

連載 かつて子供だった大人のための読物

赤ちゃん誕生秘話(9)

若生一徳 (大代西)

夫婦のうれしい寝物語は、それからのことでありました。風の無いしんとした夜のたたずまいのなかで、身も心も洗われたその清らかな深みで、二人は夫婦愛の浄福に浸り、一心同体のよろこびに満たされたのです。おじいさんは、かつて覚えのない優しさで力強さで、おばあさんをいとおしました。

おばあさんもまた、ひたすら夫をうやまいつつ悦ばせる存在となつて、ふんわりとやわらかでありました。

赤ちゃん誕生の望みだけがふくれあがり、心の美しさ豊かさをなおざりにした、これまでの結びつきとは、雲泥の差というべきものでありました。

ふしぎな心の幸福と、体の陶酔のおとずれ、しかも互いに肉体の魅力の衰えたあとで、はじめて体験する至福の交歓でありました。やがて二人は、はてもく優雅な花びらのように擁し合つて、深い眠りへとおちていきました。

その夜、二人は同じ夢をみました。時刻も同時であったのかもしれない。どんぶりこ、どんぶりこ……と、浮いて流れてくる大きな桃をひろつて、その桃から赤ちゃんが飛び出してくるまでの……どんなささいな点に至るまで、話し合うほどに、夫婦は寸分たがわぬ夢の不思議に打たれたのでした。

次号に続く

御祝儀 お見舞いは

三千元を限度にお返し

物はしないようにお互

い気を配りましょう

あいさつは心のふれあい あいさつしましょう 出あった人と あいさつしましょう

◆大代南区感謝状を受賞◆

平成八年七月～十二月までの間、大代横穴古墳群前の雑草地を花壇造成し、環境美化に努めた功績が認められ、去る三月六日「平成八年度多賀城市教育功績者等表彰式」の席上において表彰されました。

シンガポール

滞在日記

国際旅行見本市にブース出展のため六泊七日のシンガポール行きを命ぜられました。

仙台からの直行便が取れず関西空港で乗り換えをし六時間三十分のフライトである。

シンガポール共和国は赤道の一度北に位置し東南アジア有数の近代国際都市であり「食と買物の街」でも知られ日本の淡路島ほどの面積に二百九十三万の人口である。

土地の所有は国でありそのためか道路は整然と整備されている、高層ビルが立ち並び治安もよくて一年中気温の変化がなく日本のような四季はない。街は緑が多く素晴らしいです。他民族国家で中国系が約八割がマレー系にインド系だそうです。

大学は二校しかなく大学に入ること将来が約束される学歴社会でもあるようです。

二度目のシンガポールですが前回は二日間だったこともあり見学できな

ったので今回は時間をみつけては足を延しタクシーや地下鉄、バスなどを利用し充分に見学もでき大いに食べることもできた。

又インドネシアに渡ることもできた。船で約一時間の Batam 島は人口三十万人ほどの島で発展しながらも人々の暮らしは変わらず、同じ東南アジアのシンガポールとの大きな違いを見ることができた。

仕事も無事に終えて、二十四時間、人の混み合うチャンギ国際空港を立ち冬服の待っている関西空到着、十分に満足した七日間でした。

大代東 一住民

人生訓一ヶ月

ある会社より頂いたカレンダー、式の人生訓について、私自身しみじみと感じさせられる事が書かれてあります。この三十一訓を披露して少しでも、これに近づけたらと思ひ掲載させて頂きます。

- 一日 明日を思い、煩うことより今を如何にすべきかが大切である。
- 二日 楽な生き方ばかりを求めていると、深い喜びを失うことになる。
- 三日 苦しみや悲しみも味わう心が、思いやりのある人柄をつくる。
- 四日 他人の働きを大切にすると、他人の協力を得られる人である。
- 五日 親の確かな生活態度が、無言の内に健全な子供を育てている。
- 六日 物事を成し遂げるには、小さい事にも真心を尽くすことである。
- 七日 事業の繁栄は、社会に貢献した真心によって恵まれる結果である。

八日 お互いの長所を認めて、短所を補えるのが真の夫婦である。

九日 時間を大切に使うことは、自分の限りある命を活かす事である。

十日 先祖や親を敬い尊ぶ心から、家の繁栄は生まれてくる。

十一日 他人のために尽くしていけば、自分も何かで必ず恵まれていく。

十二日 自分の欲や都合にとらわれていると、世の中の動きが見えなくなる。

十三日 約束をたがえることに、次第に自分の信用を失っていく。

十四日 あやまちを素直に認める事は、それを改める大きな力となる。

十五日 他人の幸せを祈る心の集まりが、世の中の平和を築いている。

十六日 自分の能力を過信しているから、他人の働きに感謝できない。

十七日 困難に遭遇したのは新たな生き方を、求められている時期である。

十八日 何事も身をもって体験しなければ、自分を支える実力とはならない。

十九日 目のういを尊ぶ謙虚な心が、目下から尊敬されるものである。

二十日 何かするかではない、どんな心でするか、その人の値打ちを決める。

二一日 他人の幸せのために尽くしてこそ、人間の本来の喜びが実感できる。

二二日 自然の恵みを疎かにしていると、その恩恵から見放されていく。

二三日 服装や言葉が乱れているのは、心が乱れているからである。

二四日 人間の真価はその能力を他のために、如何に働かせたか

二五日 他のために役立つ働きをした報酬こそ、自分を幸せにする。

二六日 身近な人ほど自分の欠点を、ありのまま教えてくれる。

二七日 豊かな社会は国民一人ひとりの国を、愛する心から実現する。

二八日 便利になればなる程その余暇を、活かす努力が必要となる。

二九日 他人の欠点が気になるのは、自分の欠点に気付かないからである。

三十日 お金は感謝の心で支払ってこそ、大きな働きを生み出していく。

三一日 不平不満が多いのはそれだけ、自分の心が狭いということである。

大代南(平山)

短歌



本郷貞子

二人子と五人の孫を守り来し

夫逝かしめてこれが自分史

跡辺文江

幼き日の朝の膳によるこびし

煮こごりよ父母の清貧恋ほし